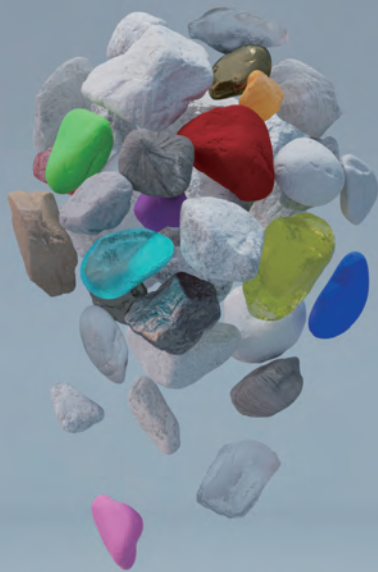


Discovery · Create · Proof



Copyright © Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology. All rights reserved.

地動計画  
Discovery Create Proof



東京都立産業技術高等専門学校  
Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology.

# Overview 概要

## スタートアップ教育支援プログラム『地動計画』

産技高専公式プログラム「地動計画」は、新しい“あたりまえ”を生み出す実践プログラムです。

日常の“あたりまえを疑う”ことで見えてくる自らの「疑問」や「着眼点」を起点に発想と実践を重ね、創造的なプロジェクトを動かしカタチにしていきます。その過程で「スタートアップを立ち上げる」という選択肢を知り、各々に合った将来への進路や学びを見つけていきましょう。

### <メッセージ>

2023年にスタートした地動計画。2026年も、学生みなさんの「こんなことやってみたい」「こんなものつくってみたい」を、ぜひ思い切りぶつけてください。

## スタートアップとは？

地動計画では、「旧態依然としたあたりまえを、自らの着眼点をもとにより良いあたりまえへ変える存在」と捉えています。一般的には、革新的な製品やサービスの提供を目指す新しい会社のことを指しますが、地動計画では、“新しいあたりまえを生み出す存在”であることに着目して教育支援プログラムを展開しています。

### なぜ産技高専がスタートアップ教育支援を？

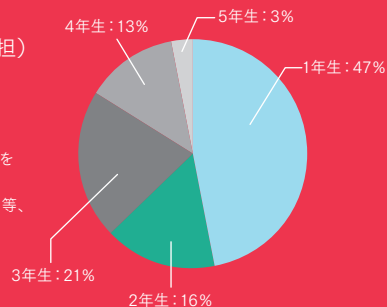
従来の産技高専における教育は、特定の物事やお題に対する課題解決が中心となっていました。一方、世の中には自分のアイデアと主体性で新しいモノゴトを創造するキャリアや進路もあります。自らの手で何かを創造する経験がその一歩を踏み出せる機会・環境の提供につながると考え、2023年に地動計画をスタートしました。

## 基礎情報

- ・参加対象：産技高専ものづくり工学科1～5年次の学生
- ・実施場所：品川キャンパス・荒川キャンパスと周辺エリア
- ・プログラム参加費：なし（実施キャンパスへの交通費等は自己負担）  
※プロトタイプ製作費を1人最大10万円分まで支援
- ・学生主事をはじめとした教員のサポートあり

※応募や参加の時点で、具体的なアイデアや明確な起業意思、特別な知識や技術を持っている必要はありません。関心があれば、まずは飛び込んでください。  
※学生がつくるプロジェクトの対象はハードに限らず、ソフト、コンテンツ、イベント等、興味に合わせて設定が可能です。

[参加学生の学年(これまで)]



# Outline 全体像

「スターティングコース」「アドバンストコース」「PLAY CAMPUS」の3つのプログラムで皆さんの挑戦を支えていきます。



## スターティングコース

自らの着眼点をプロトタイプとして「つくりはじめる」コース

### ①概要

本コースは新しいモノゴトをつくりはじめることを主眼に置いた取り組みです。身近にある“あたりまえを疑う”ことをきっかけに、自らの「着眼点」と常識にとらわれない「ものの見方」で、粗削りでも0→1を生み出す実践をまるっと経験します。それにより、まだ誰も体験したことのないものを創造的にカタチにする肌感覚を得ていきます。

### ②主な内容

- ・独自の思考フレームをもとにアイデアを創造するワーク
- ・企画と開発を一気に加速する2泊3日の合宿（夏休み）
- ・専門家による個別サポート
- ・開発したプロトタイプを文化祭で展示、体験提供

### ③時期

応募開始4月～、活動7月～10月（夏休み中心）



## アドバンストコース

アイデアやプロジェクトの「事業化を目指す」コース

### ①概要

本コースの目標は学生個々のプロジェクトの「事業化」です。「経営」や「事業」、「お金」のことや「創業仲間」のことなど、事業化に向けた基本的な学びと、必要な資源獲得の準備を進め、変革までの具体的なシナリオを描いていきます。個別サポート型のプログラムのもと、学生自らのアイデアとアクションを軸に取組みを進化させていきます。

### ②主な内容

- ・各学生によるプロジェクトの企画と実行
- ・変革のための戦略やシナリオの設計
- ・事業や経営の基本を学ぶ講座の受講
- ・先輩起業家や専門家との事業相談

### ③時期

応募開始10月～、活動12月～3月



## PLAY CAMPUS

産技高専生のためのオンラインスペース（Discord）

### ①概要

ものづくり工学科の全学生を対象に、自分なりの関心や問いを深めるコンテンツや、自分の「やってみたい」「つくってみたい」を動き出させる機会や環境を提供します。

### ②主な内容

- ・プロジェクト/事業化支援の専門家への個別相談
- ・アイデア創出のためのAIツール
- ・おすすめの機会情報
- ・ひとりひとりの“やってみたい”をサポートするコンテスト企画
- ・自分のアイデアを実際に世に出す挑戦に取り組むサークル活動



### ③時期

1年を通して利用可能

# Features 特徴

## 新しい“あたりまえ”を 生み出すための実践的な環境

個別の質問・相談ができる時間もあります。  
より面白い取組みができるよう、様々な実践環境や機会があります。

### 夏合宿 / ワーク

スターティングコースでは、夏休みにアイデア発想・プロトタイプ開発のための2泊3日の合宿を開催するなど、実践的なワークを開催。

### 10万円分の製作費

プロトタイプ製作費として10万円までの支援があります。

### 専門家による個別サポート

プロジェクト/事業化支援の専門家との定期的な対話を通じて実践活動をフォローします。

### 文化祭での展示 / 発信

プログラム参加のゴールの1つとして、文化祭で試行錯誤の成果や経過について発信します。

### 起業家に直接相談

さまざまな起業家をゲストに迎え、自分のアイデアや開発について相談できる機会があります。

### 実践的な講義 / ワーク

資金計画やチームづくりなど、起業家/専門家から押さえておくべき基本知識を学びます。

スタートアップは、就職や進学と同じように、すべての人に開かれた手段、キャリアの選択肢です。自分のプロジェクトを推進する中で、気づけば人生の中で取りうる進路選択が1つ増えていく展開もあるかもしれません。



# Interview インタビュー

ここは「自由研究」を本気でやれる場所。  
スタートアップという言葉は、気にしなくていい。

人々のコミュニケーションを深めるアプリを構想している山野辺さん。  
きっかけは、旅行先で目にした人々の“いざこざ”でした。  
自分なりの問いから始まった彼の地動計画。そこでの体験について聞きました。

●山野辺 佑斗 (ヤマノベ ユウト) さん / ものづくり工学科 1年 (2026年3月時点)

## Q. 地動計画を知ったきっかけは?

説明会です。そのとき紹介されていた「スマホの充電は、なぜなくなるのか?」という先輩の取り組みがすごく面白くて。自分の中にも、そういう素朴な疑問は確かにあったんですが、それとどう向き合えばいいのか分かりませんでした。色々と考えているうちに、「もしかして、自分にも何かできるかも?」と思えてきて、そこから参加を決めました。

## Q. 「スタートアップ」に抵抗はありましたか?

ありました。起業はどこか特別なもの、選ばれた人がやるもの、という感覚があって、自分にできるのかは正直分かりませんでした。でも地動計画は、「起業すること」が目的じゃなく、「思考力を養うこと」が軸にありました。起業する・しないに関係なく、考える力を伸ばす場として、面白そうだなと思えたんです。

## Q. 実際に参加してみてどうでしたか?

起業系の講座って堅苦しいイメージがあったんですが、ここはまったく違いました。自由研究に近い感じですかね。でも、ただ自由なだけじゃなくて、ちゃんと深掘りできる環境がありました。のびのびと思考を養っていくなかで「起業って自分にもできるかも」と思えるようになりました。

## Q. 印象的だったことは?

一番大きいのは、「先生」がないことです。教わるのではなく、自分で進める。やりたいことを持ち寄って、対話しながら深めていく。縛られず、のびのび考えられたのが大きかったですね。だから継続しやすかったです。

「社会はこう考えるんだ」、「自分の考え方はこうなんだ」と、いろいろな場面で社会と自分を照らし合わせられたのはとても貴重な経験になりました。あと、合宿でのピザ食べ放題は最高でした(笑)。

## Q. 難しかったことは?

言語化ですね。一人で考えると、アイデアは出ても、その先で止まってしまうことがあります。知らないことが多すぎるから。ミーティングを重ねる中で、「自分の考えて浅いな」と気づくこともありました。でも地動計画では、つまずいたときに言語化や思考整理を助けてもらえる。言語化することで、自分でも気づいていなかったことが見えてきました。

## Q. 最後にメッセージを。

起業とかスタートアップという言葉は、気にしなくていいと思います。地動計画は、スタートアップ養成というより、「全力で自由研究をやれる場所」だと思うんです。その延長線上に、起業という選択肢が見えてくることもある、という感じで、とにかく、自分の問いを、とことん追いかける場です。僕は全員におすすめしたいんですけど、でもあえて言うなら、小中学校の自由研究を本気でやったことがある人、あのとき夢中になれた人なら、きっとここは最高に面白いと思います!

活動の様子や参加者の声などはYouTube/Instagramからも発信しています。  
QRコードからぜひご覧ください!

YouTube



Instagram



# Past Activities これまでの取組み



## 過去のプロジェクト紹介

(活動の起点となった「疑問」や「着眼点」)

- ◆移動ってもっと楽にならないか？(5年生) / ■やることや行く場所がない時間ってなんかもったいないくない？(1年生) / ●音じゃない方法で起きられないか？(1年生) / ▼全ての気候に適應できる服ってつくれない？(3年生) / ▲折りたたみ傘の袋をなくさないためには？(1年生) / ■創作と表現ってもっと一人でやれない？(3年生) / ●充電し忘れを撲滅できないか？(2年生) / ▲もっと楽に音符読めない？(1年生) / ◆少しの知識で、世界はもっと面白く見えるはず。(4年生) / ▼もっと自分の世界にひきこもれないか？(1年生) / ●AI時代に人間の創造力を守るには？(2年生)
- ◆布団の温度を変えられたほうが寝やすくない？(1年生) / ■もっと手軽に工作できないかな。(2年生) / ■イライラって測れないの？(1年生) / ▼思考って入力しなきゃ伝わらない？(3年生)
- 床の硬さって自由に変えられないか？(3年生)...

# Information お知らせ

## 学生向け説明会 (スターティングコース)

4月中旬より参加者の募集を開始します。それにあたり説明会を開催します。

### ①日時・会場

品川キャンパス:4月15日(水) 15時30分～16時30分 (予定)

荒川キャンパス:4月16日(木) 15時30分～16時30分 (予定)

### ②概要

- ・参加学生の活動事例紹介
- ・プログラムの詳細
- ・スケジュール、参加方法について等

※個別の質問・相談ができる時間もあります。

### ③申込み・持ち物

事前の参加申込、持ち物ともに不要です。

※説明会のさらなる詳細(会場など)は、4月にチラシ配布等でお知らせします。



Youtube、Instagramでも  
地動計画を紹介・発信中



Youtube



Instagram

### プログラム情報 / 問い合わせ

地動計画は、スタートアップ教育支援プログラムの一環として、産技高専が主催し、NPO法人エティックが企画運営を担当しています。



お問い合わせは各キャンパス事務室、又は下記アドレスまでお願いします。

地動計画事務局: kikaku@jmj.tmu.ac.jp